

第5期高津区区民会議 第3回全体会議 摘録

□開催日時 平成27年3月19日(木) 午後6時00分～8時00分

□会場 高津区役所5階第2・3会議室

□参加者

区民会議委員 秋山委員、浅田委員、安達委員、内田委員、遠藤委員、大野委員、河西委員、河村委員、後藤委員、笹子委員、須見委員、田村委員、富田委員、日野屋委員、山田委員、横山委員、吉田委員、若林委員

参与 粕谷参与、斉藤参与

行政 土方区長、武田副区長、北村総務課長、鈴木地域振興課長、佐藤危機管理担当課長、西野橋出張所長、山田区民サービス部長、石津保健福祉センター所長、端坂高齢・障害課長、折原こども支援室長

事務局 宮川課長、小島担当係長、荒井担当係長、高橋担当係長、蟬川主任、熊島職員

□傍聴者 2名

□次第

1 開会

2 議事

(1) 区民会議交流会について

(2) 各部会の検討経過について

(3) たかつ区区民会議ニュースについて

3 その他

4 閉会

司会：秋山副委員長

1 開会

- ・富田委員長があいさつをした。
- ・土方区長が行政を代表してあいさつをした。
- ・事務局が、配布資料の確認をした。
- ・事務局が会議の公開について説明し、委員の了承を得た。

議事進行：富田委員長

2 議事

(1) 区民会議交流会について

富田委員長が、配布資料「平成26年度区民会議交流会 報告」について開催概要を説明し、出席した委員が感想を述べた。主な感想は以下のとおり。

【主な感想】

- ・川崎区では、区民会議はなかなかわかってもらえないので、落語家を呼んで小学校や集会所に出前する形でPRしているということだった。(富田委員長)
- ・高津区民会議は具体的な取組内容を打ち出しているが、全体的には具体的に事業をや

ろう、このように進めようといった取組をしている区はないようだ。（富田委員長）

- ・「幅広い世代に区民会議に関わってもらおう」というテーマについて、20代の人を何名、30代の人を何名と決め、大学があるところは大学生を連れてくれば良いという意見や、会社員でも集まりやすい時間帯を設ける、土・日に実施すれば良いという話もあった。斬新な考え方だが、それぞれ区が特徴を出して進めており、これも区民会議の良さだと感じた。（富田委員長）
- ・川崎区は海に近いので津波に対する備えもできているが、それほど浸透していないという発言があり、もっと真剣に津波に対して考えても良いのではと思った。高津、橘には津波はないが、山が多く、今年の台風18号の時に実際に山が崩れた。これに関するマップができると良いと思っていた。今期の議題にはあがっていないが、今後検討できると良い。（遠藤副委員長）
- ・他区の方の意見や取組を知る貴重な経験だった。特に高津区区民会議は“アイデアを実行に！行動する高津区区民会議”ということで、具体的なアクション・プログラムを展開しようとしており、一步進んでいると感じた。（秋山副委員長）
- ・初めて交流会に参加し、それぞれ熱意を持って地域づくりに取り組んでいる姿勢に感銘を受け、区民会議の足跡の重さを認識した。（山田委員）
- ・委員の皆さんが認識していることはみな同じだと感じた。グループ討議で具体的な議論はできなかったが、弱体化に具体的に取組んでいくにはどうしたら良いか、これから区民会議の中で十分に討議されていくと思う。（田村委員）
- ・自分のグループには外国籍の方がいて、外国人に対する取組について教えてもらった。地域によって町内会に入る形も違うということを実感した。（後藤委員）
- ・高津区では、当初から「アイデアを実行に」ということで取り組んできたが、各区とも具体的な行動をとることが強調されてきていると感じた。（横山委員）
- ・各区によって具体的な取組の中身に違いがある。具体的な取組の中身について交流できれば、後の区民会議の活動にプラスになると感じた。交流会の持ち方について今後検討していただければと思う。（横山委員）
- ・二度目の参加だったが、今回は少しディスカッションの時間があり発言ができた。（笹子委員）
- ・どの区も「交流が難しい」「区民会議の知名度があがらない」が課題だった。宮前区は坂が多いが、その坂を利用した健康に関する企画があるという話は面白いと思った。（笹子委員）
- ・今我々がやっているようなことが、各区で様々な形でなされている印象を受けた。どういった形で区民会議の中に交流会を活かしていくのかが、これらの課題だと感じた。（浅田委員）

（2）各部会の検討経過について

■「地域を活性化する部会」報告

遠藤副委員長が「地域を活性化する部会」について、資料「検討状況報告（地域を活性化する部会）」、「「パサージュ・たま」視察結果」「地域を活性化する部会 障

害福祉サービス事業所・地域活動支援センター見学メモ「アンケートのご協力について（依頼）」「アクション・プログラム「障害者と地域との交流の機会の創出」」「第5期高津区区民会議 要望書」「障害者と地域との交流の機会の創出について」を用いて報告し、意見交換をした。また、「第5期高津区区民会議 要望書」の提出について承認した。主な意見は以下の通り。

【主な意見】

- ・「パサージュ・たま」は「毎月1回行われている」とあるが、曜日や日付が決まっているのか。（日野屋委員）
- ⇒第何何曜日という形で決まっているようだ。多摩区役所は市民館と図書館と区役所が一つの建物で真ん中の通路のようなところで実施している。高津区役所の場合は、玄関入って左側に空間を考えており、狭い場所なので1～2施設を1回ごとに展示していく形で、年間スケジュールを考えている。（富田委員長）
- ・多摩区は高津区よりも障害者団体が多く、当日は8～9団体が出展していたが、月毎に順番を決めてやっているということだった。開催日については、実行団体が自主的に決める仕組みづくりが必要だ。（横山委員）
- ・精神障害者のNPO法人に関わりがあり、この取組について話をしたが、非常に関心を持ち期待しているということだった。（横山委員）

■「防災・防犯の意識を高める部会」報告

大野書記が「防災・防犯の意識を高める部会」について、資料「検討状況報告（防災・防犯の意識を高める部会）」「アクション・プログラム「あん☆あんフェスタへの出展」」を用いて報告し、意見交換をした。主な意見は以下の通り。

【主な意見】

- ・前回も防災用品を展示したが、どこで売っているのかという質問が多く寄せられて困った。答えを用意しておく必要があるのではないかと感じた。（安達委員）
- ・「家庭で備えるグッズ」となっているので、展示されている物を見ればどこで売っているんだと誰しも思うことだ。立場上、それなりの対応は必要だ。（田村委員）
- ⇒出展する商品を確認し、危機管理担当の総合受付でできる限りの範囲で答えられるようにする。（危機管理担当課長）
- ・自転車一体型浄水器についても、質問に答えられるかということがあるが、メーカーの方は来るのか。（横山委員）
- ⇒当日は業者も参加する予定になっている。（事務局）
- ・これは非常に良いものだが値段は高いだろう。この商品をヒントに、取り外しができて、自宅の自転車でも同じようにできるようなものができるとう良い。（大野書記）
- ・災害はいつ来るかわからない。防災グッズとして揃えと一つ倉庫が必要になる。袋があれば水が運べるとか、ダンボールと買い物袋があればトイレの代わりにもなる、水がなければサランラップを皿に敷いてお皿を汚さないように食事をする、というような知恵もPRできると良い。（吉田委員）
- ・各町内会・自治会の防災組織はどのようにになっているか。万が一の場合の対応につい

て防災組織を作り、備えておく必要がある。（日野屋委員）

- ・自分の町内会・自治会では年1回の防災訓練を20年以上やっている。全体を約120組に分け、組長主体で実施している。マンションは町会担当の理事長や担当役員に出てもらっており、約20棟あるマンションのうち15棟程度が出席してくれている。マンション自体で防災訓練をやっているところもあるが、なかなかうまくいかないと聞いている。町会の防災訓練は約50～60人しか集まらない。若い人は休日は家族サービスに出かけてしまうのが実態だ。（内田委員）
- ・静岡に住んでいた姉はマンション暮らしだったが、皆町会に入り、お祭や冠婚葬祭など濃い付き合いをしている地域だった。最初はびっくりして、どこまでどういうふうにつき合えばいいのか悩んだこともあったようだが、そこから引っ越す頃にはその関係ですごく助けられたということだった。（河村委員）
- ・町会に入っているけど子どもの用事で、町会の行事になかなか出られないような状況だ。時間を共有することができない人達に対して、どう情報を共有してアクションしていくかということが重要だと感じている。（河村委員）
- ・町会での取組は、共助でもあるが互助でもある。互助がこの部会の次のテーマだという印象を受けた。（横山委員）

■「交通安全対策部会」

秋山副委員長が「交通安全対策部会」について、資料「検討状況報告（交通安全対策部会）」「アクション・プログラム①「あん☆あんフェスタへの出展」」「アクション・プログラム②「ポレポレ通りにおける注意喚起」」「アクション・プログラム③「自転車の交通安全講習会の開催」」を用いて報告し、意見交換をした。主な意見は以下の通り。

【主な意見】

- ・自転車の保険の紹介も必要だ。死亡事故の加害者になることもある。それから、ヘルメットの着用についても啓発をしていただきたい。（吉田委員）

〈ポレポレ通りにおける注意喚起について〉

- ・ポレポレ通りのもう一つの問題は放置自転車で、非常に問題が大きくなってきている。歩くに歩けないので車道に降りると車が来る。車道を自由に横断している問題もあり。自転車の乗り方だけではなく、このあたりについても実態を調べられないか。（後藤委員）
- ・ポレポレ通りで実際に自転車で逆走してみたが、誰も注意する人がいない。次に自転車を押しながら歩道を歩くと、歩行者が多いのでどうしても車道に出る。車道にはトラック等もどんどん入ってくるので、自転車にまたがっている方がまだ車が通りやすいという状況だ。歩行者も斜めに横断していく、非常に危険な状態が当たり前のように行われている。自転車の逆走だけでも無くし、一つずつ片付けていかなければいけないと痛感した。（日野屋委員）
- ・ポレポレ通りの注意喚起は、デモンストレーションとして、区民会議はこういう取組をやってるんだということを区民の人達に見せたいということだった。（横山委員）

〈安全宣言ステッカーについて〉

- ・自分の町会では放置自転車が、町内会でも対応しているが大変だ。安全運転ステッカーの文言の中に、放置自転車に関する文言も入れられないか。（内田委員）

⇒部会で検討する。（富田委員長）

〈自転車の交通安全講習会について〉

- ・自転車の交通安全講習会は、学校含め色々なところでやっている。どのような内容で実施しているのかを調べてはどうか。講習会の対象者は町会長だが、よくわかっているので呼びかけても来ないだろう。また、やるなら継続して実施するべきだ。（若林委員）

- ・率先垂範というのはわかるが、町内会長等ではなく、ルールがわかっていない人に自転車が軽車両だということを認識してもらう方が良いのではないか。（須見委員）

⇒町内会・自治会の代表の方を対象としたのは、その方に率先垂範して啓発していただきたいという意図だが、この立場の方でなければダメだということではない。最適の方に来ていただければと考えている。（秋山副委員長）

- ・町内会・自治会でこういう問題について取組んでいただきたい、というのがこの部会の中での一つの柱で、継続的に取組む形で町内会・自治会が主体的に取組む方向づけをしよう、ということではなかったか。自分は溝の口第二町会だが、まだまだそういうところまで進んでいない。（横山副委員長）

⇒そのとおりだ。22万人の高津区民に問題意識をどう浸透させるか。色々なルートがあるが、高津区のユニットとして町会が非常に大きな部分を担っているので、まず町会の方にこの問題を十分認識していただき、それを浸透していただくルートでやろうということになった。今回は試みということをやってみようということだ。（秋山副委員長）

- ・自転車の講習会をするのであれば、放置自転車の影響についての啓発も併せてできると良い。（須見委員）

⇒放置自転車の問題も非常に悩ましい。これについても自転車の問題を取り上げる際に出た課題だが、放置自転車の撤去も十分に浸透してきたという認識もあり、今回は入れなかったが、非常に重要な課題だと認識している。（秋山副委員長）

- ・放置自転車の大半は盗難車ではないか。盗難に対する対策も織り込んでいただけるとありがたい。（浅田委員）

- ・自分の町会では年2回、高津警察署に連絡して放置自転車の一斉撤去を実施している。実施日の約1週間前に下見し、当日になってもまだあれば撤去し1箇所を集めて警察が番号を控える。その後の処分は警察に任せている。（河西委員）

- ・自分の町会ではヘルメットを各家庭に一つ常備し、防災訓練でも被ってもらおうということになっている。（河西委員）

- ・自転車の交通安全講習会について、3月中に依頼文書を出すのか。（田村委員）

⇒3月中に、富田委員長名の書簡を主に高津区全町内連合会長の方に出す予定だ。各町内会の総会が4月から5月にかけて開かれる。その場で紹介してもらえよう、4月中には日程と開催場所を知らせる文書を送りたいと考えている。（秋山副委員長）

■「たかつあん☆あんフェスタ」について

続いて、事務局が「たかつあん☆あんフェスタ」について、資料「危険を知って、そなえよう たかつあん☆あんフェスタ（ちらし）」「たかつあん☆あんフェスタにおける区民会議スタッフローテーション表」を用いて説明した。

(2) たかつ区区民会議ニュースについて

大野書記が配布資料「たかつ区区民会議ニュース（案）」を用いて、ニュース案について説明した。修正点等がある場合は、3月23日（月）午前中までに事務局に連絡することになった。

3 その他

- ・市内8署の中で、高津警察署が自転車に関する事故発生件数についてワースト1だということだったが、高津警察署との懇談会でも自転車事故がどういう場所でどのようにして起きているか、ということについてケーススタディがなかった。知識として事前に把握しておくことも必要だと思うので、教えていただきたい。（横山委員）
- ⇒高津警察署で交通ニュースを発行している。改めて情報提供できるような形で進めていきたい。（佐藤危機管理担当課長）
- ・地域を活性化する部会の取組「障害者と地域との交流の機会の創出」について、委員所属団体のイベントやお祭りで、障害者施設や団体が出展しても良いというものがあれば教えて欲しい。社会福祉協議会では数年前から、健康福祉まつりに作業所や施設に来てもらったり、てくのかわさきのお祭りでも中央支援学校に来てもらった。それぞれに同様の取組をしていただければありがたい。（冨田委員長）
- ・橘さんま祭りを今年も実施する。そこに出てもらえると良い。（遠藤副委員長）
- ・たちばな農のあるまちづくり協議会では、地産地消イベントの「さんの市」を定期的で開催する。簡単な机を出して紹介する場所を設置することはできる。（須見委員）
- ・川崎市地球温暖化防止活動推進センターでは年に1回イベントをやっている。その際に、何らかの形でできるかもしれない。（笹子委員）

□今後のスケジュール

事務局が、以下の期間で次回の専門部会及び全体会議の日程調整することを確認した。

※各専門部会

4月後半～5月前半

※全体会

5月後半～6月

閉会